

## 開催趣旨

- 来道外国人旅行者を万全の体制で迎えるべく、北海道ブロック連絡会を設置
- 訪日外国人旅行者2000万人時代を見据え、北海道の受入環境の現状と課題を把握し、必要な手立てを迅速に講じる

## 開催経緯

- **第1回北海道ブロック連絡会** 平成27年 3月23日（月） 東京ドームホテル札幌
  - ◆ 検討体制（「観光」「交通」「航空・港湾」のWGでの検討）、スケジュールの決定
- **第2回北海道ブロック連絡会** 平成27年 6月25日（木） 第1合同庁舎
  - ◆ 現状・課題、対応方針の中間取りまとめ
- **第3回北海道ブロック連絡会** 平成27年12月16日（水） 東京ドームホテル札幌
  - ◆ 取組の進捗状況・今後の対応方針取りまとめ（最終取りまとめ）

|             |        |                                                                                   |
|-------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 構<br>成<br>員 | 行政機関   | 北海道運輸局 北海道開発局 東京航空局 北海道 札幌市                                                       |
|             | 経済団体   | 北海道経済連合会 北海道商工会議所連合会 北海道経済同友会                                                     |
|             | 観光関係   | 北海道観光振興機構 日本旅館協会 日本ホテル協会 日本旅行業協会 全国旅行業協会                                          |
|             | 交通事業関係 | 北海道旅客鉄道(株) 日本航空(株) 全日本空輸(株) 北海道バス協会 北海道ハイヤー協会<br>北海道旅客船協会 北海道索道協会 北海道地区レンタカー協会連合会 |



## 第3回北海道ブロック連絡会 最終取りまとめ概要

### <第3回北海道ブロック連絡会（12月16日開催）>

- 観光、交通WGでは、中間取りまとめで整理した観光、交通の127課題を「供給不足」と「サービス向上」の観点から、重要度と時間軸により12項目（27細目）に再整理
- 航空・港湾WGにおいても課題の重要度と時間軸を整理
- 全ての課題の実施主体を明確にし、解決に向けハード、ソフト両面にわたり官民一体となって迅速・着実に取り組むことを確認
- 先行している主な取組を取りまとめ整理
- 次年度以降も取組の進捗状況確認、新たな課題への対応などフォローアップ

## 主 要 意 見

- ・ 空港の整備について、特に時間あたりの発着回数などはスピーディーな取組が必要
- ・ 二次交通、通訳ガイド、空港の整備が特に重要であり、現地を見て対応策を検討することが基本
- ・ 受入環境整備として受入の品質を保証することが大切
- ・ 周遊パスは実証実験の結果を整理して検討。また、バスロケは本州より遅れていると認識しており、自治体と協力しながら積極的に取り組む
- ・ 供給不足の新たな解決策としてライドシェア、ホームシェアなどが議論されているが、法整備の検討をしっかりと行ってほしい
- ・ 受入体制整備には人材の育成が不可欠であり、質を落とさないことが大切